

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年10月7日

【事業年度】 第44期（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

【会社名】 株式会社SOL Holdings

【英訳名】 SOL Holdings Corp.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮嶋 淳

【本店の所在の場所】 神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目403番地

【電話番号】 044 - 738 - 3939

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 中原 麗

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区北品川五丁目9番15号

【電話番号】 03 - 3449 - 3939

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 中原 麗

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年9月29日をもって提出した有価証券報告書の訂正報告書において、平成26年6月27日に提出いたしました第44期（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）に係る有価証券報告書の記載の一部を訂正いたしましたが、当該記載についてさらなる変更が生じたことから、かかる点について訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(5) 発行済株式総数、資本金等の推移

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付しております。

第一部 【企業情報】

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月15日 (注) 1	35,000	366,023	59,823	495,499	59,823	445,385
平成25年4月18日 (注) 2	6,000	372,023	10,255	505,755	10,255	455,641
平成25年8月14日 (注) 3	665,218	1,037,241	831,522	1,337,277	831,522	1,287,163
平成25年10月1日 (注) 4	9,335,169	10,372,410	-	1,337,277	-	1,287,163

(注) 1. 当社が平成24年11月5日に発行いたしました当社第1回新株予約権の権利行使による増加であります。

2. ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)の権利行使による増加であります。

3. 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。

4. 決算日後、平成26年4月28日を払込期日とする有償第三者割当増資による新株式(一株当たり発行価額317円、割当先 有限会社佐藤総合企画)発行により、発行済株式総数は750,000株増加し、資本金及び資本準備金はそれぞれ118,875千円増加しております。

5.平成25年6月5日提出の有価証券届出書の「第一部 証券情報 第1 募集要項 2 新規発行による手取金

の用途 (2) 手取金の用途 ② 資金使途」の記載の一部について、以下のとおり変更が生じております。

なお、変更箇所には、 を付しております。

<変更前>

使途の内容	支出予定金額	支出予定時期
スーパーソルガムの種子の購入費用	1.5億円～2.1億円（平成25年度、平成26年度及び平成27年度の購入代金がそれぞれ0.5億円～0.7億円）	平成25年10月～平成28年3月
本件JV運転資金（人件費及び土地の賃借料等）	2.7億円（平成25年度及び平成26年度の運転資金がそれぞれ約1.35億円）	本件JV設立以後（平成25年10月～12月）～平成28年3月
本件JVによるソルガム糖液プラント建設費用（当社負担分5～7億円）の一部（当社負担分の建設費用の残部は、本件JV又は当社による金融機関からの借入れ等によって調達予定）	4億円	本件JV設立以後（平成25年10月～12月）～平成26年12月
本件JVによるバイオエタノールプラント建設費用（当社負担分3～5億円）の一部（当社負担分の建設費用の残部は、本件JV又は当社による金融機関からの借入れ等によって調達予定）	3億円	平成26年4月～平成27年3月
株式会社日本ソルガムの株式取得の対価	5億円	平成25年8月頃
合計	16.2～16.8億円	—

（注）本件JVとは、当社が、平成25年5月17日付で、PT.Samirana Surya Semesta(以下、「サミラナ」という。)との間で締結したジョイントベンチャー契約に基づき設立及び運営される、インドネシア共和国（以下、「インドネシア」という。）におけるスーパーソルガムを活用した大規模ソルガム農場の構築、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設・運営等を行うためのジョイントベンチャーをいいます。

<変更後>

使途の内容	支出予定金額	支出予定時期
スーパーソルガムの種子の購入費用 (当社負担分)	0.3億円	平成27年9月頃
本件JV運転資金(人件費及び土地 の賃借料等)	0.4億円	本件JV設立以後(平成25年10月～ 12月)～平成28年3月
本件JVによるバイオマス発電プラ ント建設費用(当社負担分約5.1億 円)の一部(当社負担分の建設費用 の残部は、本件JV又は当社による 金融機関からの借入れによる充当、 もしくは種子販売の収益等によって 充当予定)	1億円	平成26年9月～平成28年3月
スーパーソルガム種子の購入費用 (総額12億円のうち、当該資金調達 より充当するもの)	6.1億円	平成25年9月
スーパーソルガム種子の購入費用 (総額12億円のうち、当該資金調達 より充当するもの)	2.9億円	平成25年10月～平成26年9月
株式会社日本ソルガムの株式取得の 対価	5億円	平成25年8月
合計	15.7億円	—

(注1) 本件JVとは、当社が、平成25年5月17日付で、PT.Samirana Surya Semesta(以下、「サミラナ」という。)との間で締結したジョイントベンチャー契約に基づき設立及び運営される、インドネシア共和国(以下、「インドネシア」という。)におけるスーパーソルガムを活用した大規模ソルガム農場の構築、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設・運営等を行うためのジョイントベンチャーをいいます。

(注2) 平成25年6月5日提出の有価証券届出書の「第一部 証券情報 第1 募集要項 2 新規発行による手取金の使途 (2) 手取金の使途 ② 資金使途」に記載された手取金の使途の内容、支出予定金額及び支出予定時期に関し、当該手取金のうち、当該使途のために平成26年3月末日以降に支出する予定の170百万円のうち7百万円は、当社の預貯金として管理されておりましたが、平成26年3月末日時点では、当社の運転資金等のために支出されております。もともと、当社としては、上記の支出を実際に行う時期には、スーパーソルガム糖液事業等による収益等で当該金額を確保できるものと見込んでおります。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月15日 (注) 1	35,000	366,023	59,823	495,499	59,823	445,385
平成25年4月18日 (注) 2	6,000	372,023	10,255	505,755	10,255	455,641
平成25年8月14日 (注) 3	665,218	1,037,241	831,522	1,337,277	831,522	1,287,163
平成25年10月1日 (注) 4	9,335,169	10,372,410	-	1,337,277	-	1,287,163

(注) 1. 当社が平成24年11月5日に発行いたしました当社第1回新株予約権の権利行使による増加であります。

2. ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)の権利行使による増加であります。

3. 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。

4. 決算日後、平成26年4月28日を払込期日とする有償第三者割当増資による新株式(一株当たり発行価額317円、割当先 有限会社佐藤総合企画)発行により、発行株式総数は750,000株増加し、資本金及び資本準備金はそれぞれ118,875千円増加しております。

5.平成25年6月5日提出の有価証券届出書の「第一部 証券情報 第1 募集要項 2 新規発行による手取金

の用途 (2) 手取金の用途 ② 資金使途」の記載の一部について、以下のとおり変更が生じております。

なお、変更箇所には、 を付しております。

<変更前>

使途の内容	支出予定金額	支出予定時期
スーパーソルガムの種子の購入費用	1.5億円～2.1億円（平成25年度、平成26年度及び平成27年度の購入代金がそれぞれ0.5億円～0.7億円）	平成25年10月～平成28年3月
本件JV運転資金（人件費及び土地の賃借料等）	2.7億円（平成25年度及び平成26年度の運転資金がそれぞれ約1.35億円）	本件JV設立以後（平成25年10月～12月）～平成28年3月
本件JVによるソルガム糖液プラント建設費用（当社負担分5～7億円）の一部（当社負担分の建設費用の残部は、本件JV又は当社による金融機関からの借入れ等によって調達予定）	4億円	本件JV設立以後（平成25年10月～12月）～平成26年12月
本件JVによるバイオエタノールプラント建設費用（当社負担分3～5億円）の一部（当社負担分の建設費用の残部は、本件JV又は当社による金融機関からの借入れ等によって調達予定）	3億円	平成26年4月～平成27年3月
株式会社日本ソルガムの株式取得の対価	5億円	平成25年8月頃
合計	16.2～16.8億円	—

（注）本件JVとは、当社が、平成25年5月17日付で、PT.Samirana Surya Semesta(以下、「サミラナ」という。)との間で締結したジョイントベンチャー契約に基づき設立及び運営される、インドネシア共和国(以下、「インドネシア」という。)におけるスーパーソルガムを活用した大規模ソルガム農場の構築、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設・運営等を行うためのジョイントベンチャーをいいます。

<変更後>

使途の内容	支出金額	支出時期
当社運転資金	0.8億円	平成26年4月
株式会社スーパーソルガム運転資金	0.6億円	平成26年4月
スーパーソルガムの種子の購入費用 (当社負担分)	0.3億円	平成27年9月頃
スーパーソルガム種子の購入費用 (総額12億円のうち、当該資金調達 より充当するもの)	6.1億円	平成25年9月
スーパーソルガム種子の購入費用 (総額12億円のうち、当該資金調達 より充当するもの)	2.9億円	平成25年10月～平成26年9月
株式会社日本ソルガムの株式取得の 対価	5億円	平成25年8月
合計	15.7億円	—

(注1) 本件JVとは、当社が、平成25年5月17日付で、PT. Samirana Surya Semesta(以下、「サミラナ」という。)との間で締結したジョイントベンチャー契約に基づき設立及び運営される、インドネシア共和国(以下、「インドネシア」という。)におけるスーパーソルガムを活用した大規模ソルガム農場の構築、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設・運営等を行うためのジョイントベンチャーをいいます。

(注2) 平成25年6月5日提出の有価証券届出書の「第一部 証券情報 第1 募集要項 2 新規発行による手取金の使途 (2) 手取金の使途 ② 資金使途」に記載された手取金の使途の内容、支出予定金額及び支出予定時期に関し、当該手取金のうち、当該使途のために平成26年3月末日以降に支出する予定の170百万円のうち7百万円は、当社の預貯金として管理されておりましたが、平成26年3月末日時点では、当社の運転資金等のために支出されております。もともと、当社としては、上記の支出を実際に行う時期には、スーパーソルガム糖液事業等による収益等で当該金額を確保できるものと見込んでおります。